

心に残る文化財子ども塾 松江市立宍道小学校

1. 活動の概要

6月16日(金)、松江市立宍道小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。最初に、宍道小学校周辺の遺跡について埋蔵文化財調査センターの職員から説明を受け、子ども達は、自分の住んでいるすぐ近くに遺跡や古墳がたくさんあることに驚いた様子でした。つづいて和同開珎や古代の銭貨について説明を受けました。

次に和同開珎作りに挑戦です。1組(30名)から始め、その間2組(32名)は宍道町内出土の土器などの見学をしました。最初に作り方の説明をして金属を溶かす作業から開始しました。金属が溶けていく様子を真剣に観察しました。溶けた金属を鑄型に流し込む段になると、さらに緊張した面持ちで取り組んでいました。ちょっと心配していましたが、みんな見事に鑄込みに成功しました。鑄型が冷えるのをしばらく待ったのち、いよいよ鑄型を開けて枝銭が出来ているか確認です。取り出すときに数個の枝銭が破損する場面もありましたが、ほぼ無事に枝銭ができました。枝銭からコインを切り離す作業も真剣に行いみごとに切り離しもできました。1組はこの後切り離した和同開珎の磨き作業に入りました。そして2組の和同開珎づくりの開始です。2組のみんなも、1組同様、金属を溶かす作業、鑄込み、枝銭の取り出し、切り離しと作業の順番で真剣に作業に取り組み和同開珎をほぼ無事に作りました。その後2組は磨作業を行い、1組は遺物の見学をしました。和同開珎作り、遺物の見学を終了して、後片付けも積極的に協力しました。

授業を終えた子どもたちは、金属の特性を利用した体験学習をとおして、昔の人の技術の高さを知り、協力してものを製作する楽しさなども実感したようです。

2. 活動の様子

1)宍道小学校周辺の歴史を学ぼう！



昔のお金にはいろいろな種類があります。



宍道小学校の校区には 150 近くの古墳があります。

2)和同開珎作りに挑戦！



和同開珎の作り方の説明をみんな真剣に学びます



真剣に作業しています。(和同開珎の切り離し)

3. 子ども塾を終えて

1)子ども達から…

- ・金属を溶かして流し入れるのが楽しかった。
- ・遺跡(古墳)がたくさんあるのを知ってびっくりした。

- ・和同開珎を作ったことが楽しかった。
- ・遺跡から出土した土器に触れることができたことが楽しかった。
- ・和同開珎作りでみんなと協力できたことがよかった。
- ・(和同開珎の)中央になぜ穴が開いているのか知りたい。
- ・勾玉などを作ってみたいです。(昔のお金、富本銭、銅剣、鏡、小刀、大仏)
- ・穴道町の昔のことをもっと知りたい。

2)担任の先生から…

- ・学校周辺の遺跡や遺物について教えていただき、歴史を身近なこととしてとらえることができました。
- ・和同開珎を作ることができ、実感を伴った理解ができたと思う。より身近に感じられたのではないかと思う。
- ・毎年でもお願いしたいです。

3)埋文センターから

最初に穴道小学校周辺の遺跡や古墳の説明、和同開珎ほか昔のお金の説明をしました。

和同開珎作りでは、最初に作り方や、安全に注意することを説明しました。子どもたちは真剣に聞いていました。

大人数での和同開珎作りでは、予定していた時間を過ぎてまいりましたが、先生方のご協力と子どもたちの真剣な学習態度により無事に体験学習を実施できたと思われます。歴史に対する興味を持ってもらえたこと共に、協力して作業することの楽しさを実感できたようで、授業に参加する側としても、とても有意義な体験でした。